

MIC-AP NEWSLETTER

Newsletter of MIC-AP

平成 30 年度版(平成 31 年 3 月発行)

CONTENTS

- 今年度事業の概要 ●AP 合同シンポジウム ●活動の様子
- 2018 年度の活動ハイライト:AP 事業への学生の参画

2018 年度事業の概要

2014 年度に文部科学省の大学教育再生加速プログラム (AP) テーマ I・II に採択された本学の AP 事業は、5 年目を終え、いよいよ残り 1 年となりました。本学は開学以来、「アクティブ・ラーニング (AL) によるクリティカル・シンキング (CT) 能力の育成」が教育の中核であり、AP 事業でも、この教育を発展させることが取組の中心です。今年度は、AL の事例集の作成、CT テストの実施、e-ポートフォリオ活用の推進などに取り組みました。また、学生は、ディプロマ・ポリシー (DP) で示した学修目標の達成度を測定するための「DP40 の能力項目」を使って、自己評価を行いました。また、各授業で育成する能力項目を定めることで、大学全体での DP の達成に向けた取組も開始しました。更に、来年度の完成年度に向けて、これまでの本取組の教育効果をより高めるため、実際に授業を享受する学生の視点を AP に盛り込むことを目的とした「AP 学生グループ」を立ち上げました。本グループは学生目線で、本学の AL を改善し、更に学修効果を高めるよう、活動しています。

AP 合同シンポジウム

2019 年 2 月 16 日 (土) に、本学と同じテーマ I・II 採択校の関西国際大学と合同の AP シンポジウムを開催しました。テーマは「社会が求める力をどのように育成し可視化するか」で、文部科学省高等教育局大学振興課 大学改革推進室長の平野博紀氏を来賓として迎え、(独)労働政策研究・研修機構の小杉礼子氏が「企業の評価と大学の評価—その接点を考える—」というタイトルで、基調講演を行いました。本学の参加者を含めて、108 名の参加がありました。



本学からは、西村学長補佐が登壇し、事例報告及びパネルディスカッションに参加しました。本学が開学以来、先進的に取り組んできたグローバル教育、そして、その教育を発展させている本学の AP 事業を紹介しました。また、パネルディスカッションのパネラーとして議論に参加しました。

今後、ますます重要になる大学教育での学修成果と社会で必要となる力の接点を考える良い機会になりました。最後は、本学の山下学長の閉会の挨拶で、シンポジウムは幕を閉じました。

本学の AP 事業の目標

テーマ I : アクティブ・ラーニング

1. 実践している AL を体系化し、その成果を検証して、効果的な AL の手法を提示する。
2. 英語スキルを向上させる AL プログラムの構築

テーマ II : 学修成果の可視化

1. クリティカル・シンキングを測定するツールの開発
2. ルーブリック・ベース・シラバスの導入による学修の PDCA の確立
3. e-ポートフォリオを用いた学修成果の可視化

活動の様子

全校 FD 研修会の開催

本学の全教員に対して、AP 事業への取組を説明する「全校 FD 研修会」を実施しました。本事業のこれまでの成果と今後の予定に関する理解を促進させることができました。最終年度に向けて大学全体で本事業に取り組み、成功させるように呼びかけました。



英語力ページの導入

これまでに本学の e-ポートフォリオは、授業への導入 (ICT 入門、リベラルアーツ入門など) や「1 年次のまとめのページ」、「2 年次の留学ページ」を作成しました。今年度より、国際教養学部で重要な英語力のページを導入しました。自身の英語力を振り返り、目標設定し、主体的な学修が促せるよう、取り組んでいます。



本取組の発表

今年度も、本取組の成果を積極的に対外に発信しました。大学教育学会、Asian Conference on Education、そして、他大学主催の AP シンポジウムで本学の AP 事業への取組を発表し、本取組内容を周知するとともに、研究者や教育者と交流することで、有益な知見が得られました。





AL 改善のための学生グループの紹介

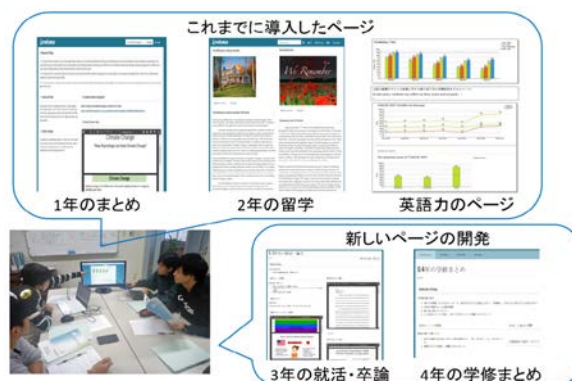
本学の AP 事業は、「授業における AL を発展・充実させるとともに、e ポートフォリオで学修成果を可視化するなどの新しい取組を通し、学生の主体的な学修を効果的に促進する」取組です。しかし、どんなに教育内容や教育システムが向上しても、教育を受ける側の学生が、それらの目的をしっかりと理解し、活用出来なければ、大きな効果は望めません。そこで、本事業の取組を、学生の視点から効果的に享受し活用するための方策を考える「AP 学生グループ」を立ち上げました。主体的学修を促進するためにはどうすればいいのか、学生自身に検討してもらいます。今年度の具体的な活動として、AL の授業への効果的な取組方法をまとめた冊子を作成しました。また、e ポートフォリオの活用についても、学生目線でその効果を検証し、改善案を提示しました。更に、下級生の e ポートフォリオ・オリエンテーションの支援や AP 合同シンポジウムでの学生ポスターの発表も精力的に行い、学生の教育改革への参画はより活発になっています。本 AP 事業で取り組んだことを、学生がその意図通りに享受し、その教育効果を高め、社会で活躍できる人材になれるよう、今後も取り組んでいきます。

AP 合同シンポジウムでの学生ポスター発表



本学での主体的な学修を実現するための方法を学生目線で紹介するポスター発表を実施しました。

e ポートフォリオの改善



学生の視点で e ポートフォリオ活用に関する改善案を提示した他、3 年次及び 4 年次のページも開発しました。

後輩の支援

「1年のまとめ」ページのeポートフォリオ・オリエンテーション



後輩の指導



1 年生の e ポートフォリオ・オリエンテーションを支援し、1 年生は実際に e ポートフォリオを使用している先輩から、話が聞けました。

AL の授業への取組方法の冊子の作成



冊子の内容

- ALの手法
- 育成される英語力の種類
- 学修効果
- ALの手順・困難・対処法



AL の授業への効果的な取組方法を冊子にまとめました。新入生や在学生がこの冊子を参考にし、より主体的に授業に臨めるようにします。

2018 年度の主な活動

- 4 月 新入生へ「DP ルーブリック自己評価」を実施
- 4 月 全学合同 FD 研修会を開催
- 4 月～ e-ポートフォリオ・オリエンテーションを実施
- 4 月～ 学生にクリティカル・シンキングテストを実施
- 6 月 CT を育成する AL に関する FD を実施
- 7 月 DP ルーブリックに関する FD を実施
- 9 月 AP 宿宿に参加
- 10 月 Asian Conference on Education にて、本学の CT への取組を発表
- 12 月 高知大学 AP シンポジウムで、本学の取組全体のポスターを発表
- 2 月 関西国際大学との合同 AP シンポジウムを開催
- 3 月 2018 年度外部評価委員会開催

2019 年度の主な活動予定

- 4 月 新入生への「DP ルーブリックの自己評価」に関するオリエンテーションの実施
- 4 月～
 - CT グテストの実施
- 3 月
 - e-ポートフォリオ・オリエンテーションの実施
 - 他大学主催の AP シンポジウムや AP 事業の内容に関連した学会等で、本学の取組を発表
- 7 月 AL に関する FD の実施
- 8 月 DP ルーブリックの成績からの評価システムの整備
- 8 月 AL の事例を教員から収集
- 12 月 これまでの取組の全体を発表する FD 報告会の実施
- 1 月 AL 事例集の作成
- 2 月 AP 合同報告会の開催
- 3 月 本取組の最終事業報告書の作成